

国内現地研究会 2013★鶴岡・村上企画（評価集計結果）

企 画■中心市街地に人を呼び込む方法論を、現場を見て学ぼう ～鶴岡・村上の試み～

（TMU都市と住宅を考える会＋まち歩き活動体 tekuteku／合同企画）

日 時■2013年 6月15日（土）～16日（日）

コース■第一日：鶴岡市中心商店街「まちづくりとアーバンデザインの一体的プロジェクト」

鶴岡駅前マリカ (FOOD EXPO 2013/昼食)～山王商店街(全体説明)～山王町江鶴亭～鶴岡まちなかキネマ～銀座商店街(エビスビル/休憩)～山王ナイトバザール(自由行動)～さんのう夢ぽっと(交流会)～山王会館(打ち上げ)

■第二日：村上市歴史的町並み形成地区「町家の保存公開とまちづくり活動の推進」

村上駅～味匠きっかわ(全体説明)～安善小路(黒塀プロジェクト)～寺町・新多久(昼食)～武家屋敷街(若林家住宅)～庄内町・塩町(鮭塩引街道/職人町散策)～大町・小国町・肴町通り(町屋拝見・まちなみ散策)～村上駅

■オプション企画（第二日朝）：鶴岡の洋館群を巡る（カトリック教会、大宝館、旧郡役所ほか）

参加者■井手幸人＊、大竹 亮、小川美由紀#、梶川義実、加藤仁美、川原 晋、栗原 徹、栗村一彰#、重永真理子、二瓶正史、古里 実、松野栄明、水谷晴子、谷貝 等＊ほか同行者あり

（以上14名、#鶴岡のみ参加、＊村上のみ参加）

コーディネーター■鶴岡：川原 晋(首都大学東京)＋橋本匡史(ストリートマネジャー)＋結城ななせ(同)

村上：梅宮路子<事前調整>＋梶川義実(都市と住宅を考える会)

外部講師■三浦 新氏(鶴岡・山王商店街振興組合理事長)、吉川美貴氏(村上・味匠喜っ川取締役)

※このほか、多くの関係の皆さんにご案内、ご説明をいただきました。ありがとうございます。

企画主旨■中心市街地の再生には、地域に様々な活動やアクターを呼び込む空間と組織づくりが鍵であるという視点の下、山形県鶴岡市と新潟県村上市の中心街を訪問し、議論する。

鶴岡山王商店街では、まちなみ協定の締結を契機に、街路事業を活用して道路全体をイベントやバザール等に利用できる「活動舞台としての道ひろば」を実現した。また、商店街有志が主体となって進める仕組みは、市民によるまちづくり事業の一つの到達点ともいえよう。当日は「山王ナイトバザール」の開催日であり、昼と夜のまちづくり、人を呼び込む仕掛けを実地体験する。村上中心街には、城下町以来の多くの町家が集積しているが、道路拡幅と沿道建築物の建て替えの話が持ち上がったのを契機に、市民主体で町家の公開を軸としたまちづくり活動が始められた。現在では美しい町並みが広く認識され、多くの観光客が訪れている。当日は、村上町屋商人会からまちづくりのお話を伺った後、街を歩き、その成果を実感する。

中心市街地再生の本質に切り込むべく、2都市でまちづくりのキイパーソンに協力いただき、街を歩いて体感しつつ、奥の深い議論をしたい。



鶴岡・山王商店街で、川原先生の説明を聞く



村上・鍛冶町で立派な町屋の内部を拝見する

<参加者の意見・評価>

1 ■鶴岡中心街について

1-1 ■鶴岡中心街全体についての印象

評価：4. 50 内訳：AAAAAABB

評価A：いきなり、食べるものがすべて美味しかった。これでもかというくらい、いろいろな取り組みがされており、可能性が感じられた。しかもハード整備が控えめなことが、これから「手作り感覚」で次々に少しずつできていくのだろうなあ、という期待を持たせる。

評価A：駅前再開発施設や各商店街の状況は難しいが、山王商店街の取り組みには希望が見え、今後が楽しみである。洋館群などの観光資源も多く、歩いて楽しい街になりつつある。

評価A：商店街がたくさんあり場所が認識しやすい。街の人がそれぞれに元気である。

評価A：現地を実際にご案内いただいたアクター達の熱意とアイデアとに敬意を表したい。

評価A：ごく一部しか行っていませんが、落ち着いた良い町だと思いました。

評価B：昼だけ見れば、全体的には典型的な地方都市の中心商店街だと評価できる。細かく見ると蠟燭店が複数あるなど、城下町の面影が残っている。それゆえ、山王商店街の取り組みは意義がある。

評価B：山王商店街は頑張っており、ナイトバザールも賑わっていたが、駅前など他のエリアも含めると、中心街全体としては厳しいのではないかな。



鶴岡駅前再開発マリカの屋根付き広場は、FOOD EXPO 2013 に上手く活用されていた。



織物工場を改修転用した鶴岡まちなかキネマは、多くの人々が訪れる場となっている。

1-2 ■鶴岡中心街で特に印象に残った場所・イベントなど

FOOD EXPO 2013★鶴岡駅で特急を下車すると、ホームでワインが配られたのはうれしかった。

FOOD EXPO 2013★各店自慢の「突き出し」の食べ比べというのは、とても楽しい。どれも美味しかった。

出羽三山精進料理弁当★「共同プロジェクト」弁当という発想が面白い。しかも美味。特に落、月山筍。

MARICA★当日はFOOD EXPO で賑わっていたが、駅前のあれだけのビルが空いてしまっているのはとても残念。

山王通り商店街★道を舞台とした取組みは素晴らしい。

山王商店街拡幅部分★広い歩道に、車止め兼花かご兼幟立て、行燈照明、出店スペースなどが美しくデザインされ、夜間はみごとにイベント空間に変貌していた。

江鶴亭(保存町家)★すばらしい建物をよく残すことができた。まちづくり活動の中で活かしてほしいもの。

鶴岡まちなかキネマと工場建築★歴史的建築物の力を感じた。

鶴岡まちなかキネマ★工場をリノベーションした映画館だが、デザインも非常に良く、街の集客施設として有効に機能している。

鶴岡まちなかキネマ★古い倉庫を活かして映画館にしたという発想にびっくりした。

鶴岡まちなかキネマ★新しいまちなか拠点となっている。建物も良く設計されている。

鶴岡まちなかキネマ★建物、仕掛けともに面白い。

鶴岡まちなかキネマ★事業アイデアと運営体制に感心した。

鶴岡まちなかキネマ★かつてどの町にも映画館があった。工場のリノベーションで建築学会作品選奨を受賞したこのステキな建物が、多くの人を集め、人々を楽しませる場として定着しつつあるように見える。

五十嵐陶器店の蔵★商店街の賑わいのために、場所を提供していること。
 阿部久書店★時代を感じさせる本たちに囲まれて(手にとってみる事ができて)、不思議と心が落ち着く。
 阿部久書店★興味深い本がたくさんあった。まだまだ時間が足りなかった。
 阿部久書店★ゆっくり見ると、掘り出し物がたくさんありそう。
 内川学イチローちまち×かわプロジェクト★パンフレットで見たのですが参加してみたかった。
 商店街に町家や蔵が隠れていること★意外性があった。
 エビスビル★レトロなビルでアーケードでファサードが見えないのが残念だが、うまく活用すると面白そう。
 エビスビル★地方都市の昭和初期のRC店舗ビルは初めて見た。とても魅力的な建物。現在暫定的にイベントとして利用している姿もグッドです。
 ナイトバザール★日中には想像できないほどの人出があり、活気があった。
 ナイトバザール★夜の賑わいにびっくり。
 ナイトバザール★これを楽しみに、夜、出てきている人の多さに驚いた。
 ナイトバザール★すごい人出。露店のにぎわいに加え、商店が夜遅くまで開いているのが楽しい。
 ナイトバザール★店からもれる灯り、人々の集う姿が、昼間とは異なる空間を見せ、一様でない楽しみ方の出来る商店街というイメージを発信しているように見えた。
 ナイトバザール★昼間はみんなどこにいたのだという感じの賑わいが素晴らしい。家族ずれも若い人も年寄りも子供もみんな出てくる。夜だけど本来の街の姿がある。
 ナイトバザールの打ち上げ★多くの若者がいた。
 ナイトバザールの打ち上げ★大勢のボランティア学生さんがいて、夜半過ぎまで語り合っていた(中締めが過ぎても全然帰らない!)。その熱気に驚かされ、元気づけられた。



商店街の一角に保存公開された江鶴亭は、今後のまちづくりの拠点として期待される。



山王商店街の一角にある古書店では、多くの掘り出し物が見つかりそうだ。

1-3 ■山王商店街で買ったもの、食べたもの(その理由も)

ご飯茶碗／五十嵐陶器店(¥1,000)★品揃えにセンスがある。初めて見るデザインで買ってしまった。満足。
 コーヒー豆／五十嵐陶器店(¥520)★とても香ばしく美味しい。陶器店でコーヒーが買えるのもいい。
 書籍「城下町鶴岡」／阿部久書店(¥1,260)★鶴岡の歴史をわかりやすく豊富な地図とともに解説してあり満足。
 毎日グラフ「鉄道100年」／阿部久書店(¥300)★状態も良く、安かった。もっと状態の悪い同じ本を買ったことがあり、お得感があった。古書店めぐりの醍醐味である。
 菓子(クッキー)★鶴岡の老舗洋菓子屋の実力を知るために。(しかし未賞味)
 ラスク★さんのう夢ほっとに入っているベーカリーで購入。美味しかった。
 塩麴★もともと愛用。評価A。美味、もっと購入すべきだった。
 お団子・汁物・アイスクリーム★美味しそうだったので。
 塩焼きそば(¥300)★見るからにおいしそうであり、おいしかった。
 露店のソーセージとじゃがいものセット(¥500)★見るからにおいしそうであり、おいしかった。安い!
 ソーセージとビール／ナイトバザール(¥600)★路上宴会用。なかなかいい雰囲気でした。
 屋台のお酒と食べ物／ナイトバザール(¥2,000 くらい)★屋台の回りにテーブルと椅子があり、そこで飲食したかったから。食べ物の味もグットでした。

屋台のベトナムの料理★コストパフォーマンス良し。おいしかった。

★品物を選ぶ時間がなく結局買物ができませんでした。和ろうそく、陶器、刺子など買いたかったのですが。



ナイトバザールの屋台の魅力に惹かれて、みんなが歩道のテーブルに集まってきた。



旅先の商店街で買ったものを自宅に帰ってじっくり楽しむのも、旅の醍醐味の一つだ。

1-4 ■山王商店街のまちづくりの取り組みについて

●まちなかキネマや道路整備などのハードに加えて、ストリートマネージャーなどソフトも充実し、非常に多様なまちづくりを進めている。

●非常に興味深い。ナイトバザールの人出、アーバンデザインの工夫、まちなかキネマとの連携、そして多様なアクターの存在など、地方都市中心商店街のまちづくりとしては、成功しつつあるのではないかと全体をコーディネートするストリートマネージャーの活躍が鍵であり、なんとか定着するように願う。

●歩道、行灯、幟など、印象に残るものが多い。まちなかキネマとの連携など、仕掛けがたくさんあり、だんだん成果が出てくると思う。江鶴亭を改修する大工さんなどの職人を活かせると、埋もれた資産が顕在化するのではないかと。

●道行く人や置かれたモノがない翌朝、もう一度山王商店街を訪れ、商店街のスケールに対して通常よりも歩道が広いことを再確認した。フラヌール？には欠かせない。

●歩道と車道に段差を設けていないのが良い成果を生んでいると思う。

●20年もナイトバザールを継続する力に感心しました。

●こんな表現は失礼かもしれませんが、「身の文」のハード整備（道路の舗装など）、何気ないデザイン（街灯や幟スタンドと花など）・・・何気なさをデザインしたのでしょうか。とにかく思い出すにつれ「好き」です。若い人や学生が生き生き活動しており、それが「仕事」として成り立ちそうなところまでできたことがすばらしい。川原先生の感性が求心力となって引き寄せたのでしょうか。

●ここまでよく実績を重ねてきたと感心します。成果もでていますが、商店街の売り上げにつながっていないというのが気になります。



拡張された歩道部分には、幟立て兼花台や行灯照明などが機能的にデザインされている。



ナイトバザールは非常に多くの人出で賑わい、沿道の商店も夜遅くまで営業している。

1-5 ■ふたたび鶴岡を訪れたいと思ったか

- ふたたび訪れたい。こだわりの各店に立ち寄り、まちなかキネマで休み、おいしい食べ物を味わいたい。
- 訪れたい。食への期待感がある。歴史的建造物も見たい。
- 他の季節、特に積雪時の様子を見たい。今回、巡れなかった藤沢周平関連施設などを訪問したい。
- 今回あまり見られなかった城周りの観光と周辺の出羽三山観光がしたい。
- 歴史的建造物や映画村にも行ってみたい。郊外部の大規模店舗の状況や道路ネットワークも見たい。丸谷オーゆかりの地にも行きたい。
- こんどはまずは「普通の観光」をしておいしいものを食べて、ナイトバザールやまちづくりをじっくり見て回りたいです。エビスビルやイチローヂ商店がどうなったか、期待しつつ、見守りたいと思います。
- ふたたび訪れるのであれば、是非、発展形を見たい。
- まちづくりの成果が目に見える形になるのはこれからであり、ぜひその成果を見に行きたい。

1-6 ■鶴岡中心街や山王商店街の今後のまちづくりに対する希望やアイデアなど

- 橋詰のイチローヂ商店や銀座通りの旧エビスヤ薬局の活用など、象徴的な建物を拠点とした展開により、江鶴亭やまちなかキネマと連携して回遊性が高まることを期待する。合わせて、ストリートマネージャーの定着が鍵だと思う。
- 映画という鶴岡の財産を活かし、まちなかキネマとの連動を強くし、外部の人を集める。写真写りの良い場所を多く発掘すると良いのでは。
- まちなかキネマとの連携が集客の鍵になると思います。庄内映画村で撮影した映画が上映されている時には、各店舗でその映画の小道具等を展示するというのはどうでしょうか？
- まちなかシネマを訪れた人が、商店街を回遊するような取り組みがさらに広がるとよいと思う。
- 他の商店街との連携。
- 日配品の店がほとんど無いのが気になります。道の駅のような産直でB級品を扱う八百屋が存在すると、近隣住民が日常的に訪れるようになるのに加え、観光客の集客も望めると思う。
- このまま継続していれば、若い人たちも育ち、いろいろ面白いことが起こると思います。まちづくりはやはり継続です。
- ストリートマネージャーの存在が重要だと思うので、時限的な雇用ではなく、継続的に活用できる仕組みが出来るといいと思う。



橋詰にある旧イチローヂ商店の活用が、次のプロジェクトとして検討されている。



珍しい戦前のRC建物である銀座通りのエビスビルでも、公開イベントが行われた。

1-7 ■鶴岡山王商店街での当日配付資料について

- The 山王ブックレット★手づくり感が感じられるし、作成に時間がかかっており、読み応えがある。
- The 山王ブックレット★表からはわからない商店街の魅力が詰まっている。
- 山王ナイトバザールのチラシ★毎回作成は大変だと思うが、楽しいチラシだ。
- 銀座通りエビスビルのチラシ★内容も魅力的だが、デザインが美しくてシビレタ。
- 鶴岡のれん vol. 01 酒の肴のチラシ★美しく見やすくセンスが良い。折り方も粋！
- マップやチラシ類★いずれもとても美しく、見やすく、かつ内容を魅力的に表現している。

「山王商店街再生の今後」のパワポ★状況が良くわかる資料。

「山王商店街再生事業」の資料★具体的な事業の計画と進捗状況、課題が地図上で良く理解できました。

★資料の中でもマップが大いに役立った。(いただいた資料が大量で未だすべてに目を通してないが)

★いろいろと資料をいただき、良く理解できました。特に「月山聖地巡礼 ノ旅」など IDEHA クリエイションの作成したパンフなどが良い。

★いただいた資料は役に立ち、興味深かったです。これからまた読んでみたいと思います。



ナイトバザールの打ち上げには、若い学生も多数参加して、深夜まで延々と議論が続いた。



当日いただいた資料やマップは、いずれも内容・デザインにすぐれ、参考になった。

1－8 ■鶴岡の歴史的建造物くオプション>

※鶴岡中心街の城址・武家屋敷街に残る歴史的建造物を2日目の早朝に有志で見て回りました。



幕末に設けられた庄内藩校・致道館



大正時代に建てられたバロック風建築・大宝館



ロマネスク様式の鶴岡カトリック教会天主堂



明治初期のルネサンス風建築・旧西田川郡役所

2 ■村上中心街について

2-1 ■村上中心街全体を歩いての印象

評価：4. 1 1 内訳：A A A A B B B B

- 評価A：個々の町屋を公開するという活動は、来訪者に好印象を与えてくれる。あまり観光客を見かけず、人通りが少なかったが、町屋、職人長屋、武家屋敷、寺町などの歴史資源が多く、とても魅力的。
- 評価A：町屋の中に入っはじめて、建物の素晴らしさに圧倒される。
- 評価A：短期間で町並みを作り上げたのは素晴らしい。
- 評価A：町屋が活用され、商店の方々が温かく迎えて説明してくださるのが心地よかったです。欲を言えば中心市街全体として、町屋と町屋をつなぐもの「なにか」がほしい気がしました。歩行者空間とか。
- 評価B：鶴岡から海岸沿いを南に下ると村上がはじめての大きな町である。かつては地域の中心、商業地として栄えたであろうことが想像される。
- 評価B：これといって街なかに観光資源が無いのに、落ち着いた町並みをつくって観光客を呼び込んでいる点は評価できる。
- 評価B：まちづくりの活動としては素晴らしいが、街並みや景観の面では黒塀や一部の町屋のファサードに留まっており、これからを期待したい。
- 評価B：街の部分々で修復なりイメージ化ができているのですが、おひな様以外で、それを如何につないでいくかが今後の大きなテーマではないかと思いました。楽しみです！



大町の町屋・味匠きっかわの内部には、大量の鮭が吊るされ、風土を実感させる。



寺町の安善小路付近では黒塀プロジェクトによって風情ある町並みが形成されている。

2-2 ■村上中心街で特に印象に残った場所・イベントなど

- 味匠きっかわ★まちづくりの拠点になっているとともに、町屋の中に鮭を吊るしてある光景は圧巻。
- 味匠きっかわ★町屋に大量の鮭が吊るされているのを見て、この地の風土と昔ながらの営みを体感できた。
- 味匠きっかわ★建物をじっくり見ることができて良かった。
- 味匠きっかわ★衰退しつつある通りにキラキラと輝いて見えました。
- 味匠きっかわ★吉川さんの話はとても面白かった。
- 安善小路(黒塀プロジェクト)★黒塀が連なって美しい一角になっていた。建物や樹木も活きる。
- 安善小路(黒塀プロジェクト)★黒塀プロジェクトは、安くて簡単なのに効果は非常に高い。
- 安善小路(黒塀プロジェクト)★低コストで場所のイメージ化に成功した事例。
- 安善小路(黒塀プロジェクト)★黒塀・木造建築物・緑がいい雰囲気を出している。
- 寺町★黒塀の町並みが美しい。
- 早撰堂菓司舗★表通りに面するガラス戸の格子がとてもお洒落だ。
- 井筒屋旅館★町屋がカフェになっている。今回は時間がなく立ち寄れなかったが、ぜひ入ってみたい。
- 益甚酒店★大町の通りに重厚な姿を見せている。存在感のある立派な町屋だ。
- 庄内町★台地上の町屋・寺町・武家屋敷と対照的に、川沿いには職人長屋が並び、町並みを保っていた。
- 庄内町・鮭塩引街道★吉川さんの話で出てこなかった坂の下の地区にも、風情ある街並みが残っている。
- 塩町・益田甚兵衛酒店★品よく保存修景されており、とても美しい町屋。
- 塩町・益田甚兵衛酒店★少し会話しただけで、店の奥まで見せてくれた。

中心地の交差点★道路拡幅がされた方向とされていない方向、一部拡幅中の方向があり、対照的だった。

町屋資料館★町並み散策の途中で、ふらっと立ち寄って休憩でき、ほっと一息ついた。

お茶屋★

鍛冶町の職人町★この通りが一番いきいきしていた。

小国町・肴町の町屋群★内部を丁寧に見せてくれて、かつ色々なお話しをして下さった。人と人とのふれあいがあった。

吉川酒舗★町屋だけでなく、店の人の対応もとても印象的。この町屋がある交差点には良い建物が集まっている。



三面川沿いの庄内町・鮭塩引街道には職人町風の建物が並び、往時の面影を今に伝えている。



塩町の酒屋は市民基金の町屋再生プロジェクトによって保存修景され、美しい姿を見せる。

2-3 ■村上中心街で買ったもの、食べたもの（その理由も）

鮭の酒びたし(¥1,155)★ここの名物なので。まだ、食べてないが美味しそう。

鮭の酒びたし(¥1,155)★天井から吊るされた鮭に圧倒され、これは買って食べなくてはと単純に思いました。おいしかったです。

鮭の酒びたし(¥1,150)★村上に来たらこれを買わねばと思っていた。想像以上に奥深い味で大変おいしい。

鮭の酒びたし+皮(¥1,900)★ここにきたらこれを買おうと決めていました。

塩引き鮭(¥1,000)★地元名物なので購入。まだ食べていない。

鮭の焼漬★まだいただいていないが、きっとおいしいと思う。

きっかわの土産(¥20,000 くらい)★親戚にお中元を贈った。帰って食べたが美味しかった。

本ノ町屋と人形さまの町おこし(¥1,680)★吉川さんの話を聞き、詳しい内容を把握するため。非常に面白い。

吉川美貴さんの本ノ心を育てる(¥1,680)★吉川さんのお話に圧倒されたので、また、都市計画の問題を子どもたちに伝えるために参考になるとあって、買いました。本もすごいです！！

まちづくりの本★吉川さんの話が面白かったのだ。

日本海踊る！白いダイヤ（塩）★きっかわの隣の酒屋で購入。村上に向かう電車から見た塩工房のもので、そうなので。とても味わいのある日本海の塩です。

村上番茶(¥500)★吉川さんのところでいただいたお茶がおいしかったので購入。店の愛想も良かった。

お茶(¥700)★通りを歩いていてお茶を煎じている香りにひかれて買いました。水だしができるので満足。

マグカップ(¥1,800)★町家のお茶屋さんで買いました。毎日おいしくビールを飲んでます。

大洋盛（日本酒）★地元のお酒をぜひお土産にということで買った。

大洋盛（日本酒、¥800?）★駅前の吉川酒店ですすすめられた地酒。満足。

大洋盛（日本酒、¥1,200）★地元限定の生酒だったので。美味。

葡萄羹（菓子）★お酒を買った店に置いてあったので買ってみた。非常に美味しかった。

鮭★（満足度B）鮭問屋の鮭を食べてみたかった。

塩★（満足度B）天然の塩があるとは思わなかった。

みがきにしん★（満足度B）酒のつまみにおいしそうだった。

★気がついたら、買物をしていなかった。町屋を公開するのに加え、もう一工夫ないと買物につながらないのではないか。



村上城址近くには武家屋敷街が残り、
緑ゆたかな一角となっている。



村上の中心街には立派な町屋が残り、
現役で商いに活用されていることも多い。

2-4 ■村上の町屋を活かしたまちづくりの取り組みについて

- 民間ベースでまちづくりを進め、行政に頼らない姿勢は、非常に素晴らしく、これが本来のまちづくりだと思う。
- 町屋を来訪者に見せるという活動が良い。誰にでもできるし、来訪者にも好印象。建物の価値を認識し、保存にもつながる。公共事業に頼らない市民主導のまちづくりの方法として、成功していると思う。
- 除々に進めている点が良い。黒堀プロジェクトは、他の地域でも真似ると良いと思う。
- まちづくりのお話をお聞きすると、吉川さんの並々ならないパッションが伝わってきました。その成果が黒堀であり、おひな様のイベントなり、成果に繋がっている。素晴らしい。今後、持続的なまちづくりに繋げていくには、このパッションを受け継ぐ人がどれだけ出てくるかにかかっているのではないのでしょうか。
- 吉川ご夫婦の努力の賜物であり、こういうまちづくりもあるのかと新鮮な思いだった。やり遂げようというその心意気に衝撃をうけました。
- 吉川夫婦の強い思いと実行力に感銘。このような強力な牽引力になる人がいて初めてまちづくりは始動するのだと改めて実感した。
- 「会議より実践」は全く同感。
- 合意形成を図らずにやれるところからやってしまうという考えは、民間ならではの。財がないとできない取組みで、商人がまちづくりを引っ張るという現代の庄屋ではないかと感じた。
- 吉川ご夫妻の取り組みの圧倒的な力を感じました。その一方で、街を歩いていると、道路拡幅賛成派（それもいくつかのグループがあるようで）、反対派のポスターなどが目につきました。私たちの見えないところで実はせめぎあいがあって、それを一歩つきぬけたところに吉川夫妻の成果があるのでしょうか。地元の意識が歩行者空間の整備などに向かないのは、市を巻き込むことへの複雑な事情があるのでしょうか。とりわけ、地方都市では都市計画道路は真剣に見直してほしいと思います。



中心街の一部では道路拡幅がなされており、
沿道の町屋は建て替わりつつある。



鍛冶町・小国町付近の道幅は以前のままで、
沿道の町屋が往時の姿をとどめている。

2-5 ■ふたたび村上を訪れたいと思ったか

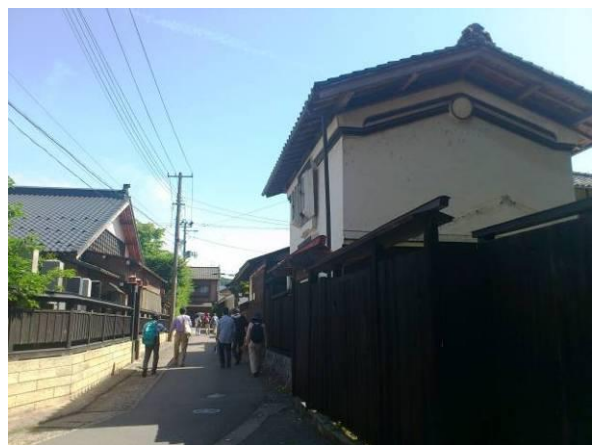
- ぜひ訪れたい。町屋を拝見しながら、ゆっくり街を歩きたい。買物をして、町屋カフェで休憩も。
- 今回は時間がなくて、まちなみや建物はじっくり見られなかったなので、またゆっくり行きます。
- ぜひ、また訪れたい。リピーターの割合が高いということは、それだけ奥が深いということなので、本当の村上を味わいたい。
- 再訪したい。今回はまち全体を十分見て回れなかった。三面川の鮭との関係など興味がある。
- 市街地に泊り、三面川の溪流で釣りをしたいです。
- 人形さま巡りなどのイベント時の様子を見てみたい。
- 人形さま巡りのタイミングで訪れてみたい。
- 人形さま巡りの頃にぜひまた行ってみたい。
- 町屋をじっくり見てみたい。市民が都市計画道路のことで割れていることを考えるとちょっと心が落ち着かないですが、それを越えたところに「人形さま」があるのでしょうか。

2-6 ■村上中心街の今後のまちづくりに対する希望やアイデアなど

- 非常にしっかりした考え方でまちづくりに取り組んでおり、このままの方針で続けていってほしい。観光客向けの土産物屋などはあまり必要ないと思うが、伝統を活かした商売に加え、若い人が新しい試みに取り組めるような場があればいいと思う。
- 古い建物の内部構造が生活とともに良く残っていることは本当に素晴らしいので、それを活かした体験型観光などの可能性があると思った。
- 道路拡張した区間もそれなりの感じがする。観光客向けには塩町など、他地区も合わせた回遊性があると良いだろう。しかし、市民の買い物はどうなっているのか。
- 駅から中心街へのバスなどがほしいと思う。
- 日曜日で循環バスが運行されていなかった。町の中心部までは駅から距離があるので、鉄道の時間に合わせて駅と中心部を結ぶシャトルバスを走らせると良いのではないかな。周辺の観光地とうまく連動できるような公共交通のアクセス体系があると良い。
- 三面川の自然の魅力と市街地とをうまく繋げると、さらなるパワーが出てくるのでは。
- 今は色々なことがうまく回っていると思います。このまま頑張ってください。
- 今のやり方を続けていけばいいと思うが、これからは観光客が多くなりすぎないようにコントロールする方が難しいと思う。



塩町の通りに面する住宅の多くは、今も手入れされて住み継がれているようだ。



大町の表通りを入ると、黒塀と白壁土蔵が小路を彩り、町の奥行きを深さを実感させる。

<注> A～D評価は、A：非常に良い、B：良い、C：普通、D：良くない

3 ■今回の企画に対する感想など

●首都大学や早稲田大学による最先端のノウハウを投入してまちづくりを進める鶴岡と、地元の人が自ら民間ベースでまちづくりを進める村上。アプローチの仕方は異なるが、どちらも極めて質の高いまちづくりが実践されていて、とても参考になった。(K・T)

●合意形成を重視して20年間かけて着実に進んできた鶴岡と、カリスマの下、驚くべきスピードで民間主導のまちづくりを行っている村上。ある意味で対照的な2つの町でしたが、まちづくりの正解は一つではなく、いずれも素晴らしい取組をされていると思いました。対照的だったが故に考えることも多く、とても良い企画だったと思います。両町ともに、これから応援したくなりました。(M・Y)

●いつものことながら、現地の方や専門家と話しができて、通り一遍では見られない（もしくは気がつかない）ことが短時間で見られて良かった。(N・M)

●大変中身の濃い2日間でした。次から次へと登場する現地の方々が魅力的な方ばかりで、実際にお話をうかがえたのは大変貴重な経験でした。まちの魅力というより、人の魅力にやられっぱなしの2日間でした。ありがとうございました。(M・H)

●村上のまちづくりへの吉川ご夫婦の情熱をお聞きしてからのまち歩き、楽しかったです。(I・Y)

●村上へは、新潟と酒田・鶴岡の間にあり、なかなか行く機会がないところでした。今回は羽越本線沿線を辿って、新潟と酒田・鶴岡の地域の連携が体感できたことが良かった。北前船での京との文化交流を実感した企画でした。一日だけでも参加して大変有意義でした。(Y・H)

●鶴岡・村上を訪問し、東北地方の日本海側は北前船を通じて関西文化圏に近いと実感しました。鶴岡では、駅前のフードエキスポから始まり、山王商店街の三浦理事長、江鶴亭の加藤館長、阿部久書店さん、五十嵐陶器店さん、IDEHAの三浦さん、ストリートマネジャーの橋本さん、まちなかキネマの菅さん、エビスビルで國井先生、建築家の高谷先生と、多くの方のお話を伺い語り合うことができ、感謝に堪えません。村上では、きっかわの吉川美貴さんの説明に感銘し、その後たくさんの町屋を拝見しつつ、町の方とお話しができました。ありがとうございます。今後のさらなるまちづくりに期待しております。(O・R)

●5年ほど前に酒田の中心市街地商店街の調査を手伝い、その際に鶴岡に興味を持った。酒田の店主たちは、酒田の中心市街地が寂れた理由の一つに鶴岡の存在（吸引力）を挙げていた。しかし実際に鶴岡を訪れてみれば、こちらも中心市街地の活性化問題は酒田と変わるところがない。その状況のなかでアイデアを出し、継続的に活性化のための実践を行っていることが強く印象に残った（そういう機会に集中的に触れたということも言えるが）。●昨年12月の記念講演会と今回の国内現地研究会がセットになっていたことが良かった。いつものように国内現地研究会の企画・運営に入念な準備をされていたことで、充実した見学会になった。企画・運営の皆様に感謝したい。(O・M)

●鶴岡駅でのウエルカムドリンク、精進料理弁当、樽酒飲み放題から、度肝を抜かれた。鶴岡では夜の12時半まで熱く語れ、充実した企画でした。川原先生のおかげだと思う。村上についても、各所を回ることができ、充実した企画だった。両都市とも、プログラムは欲張りすぎだったかもしれない。いずれにしろ、地元のキイパーソンの生の声を聞くことができ、良かった。川原先生、梅宮さん(村上の事前コーディネーター)、ありがとうございました。(K・Y)



▲鶴岡山王商店街・江鶴亭の前にて



▲村上武家屋敷街・若林家住宅の前にて